

相談窓口の紹介

奨学金の相談がしたい

学生課

学生課では学生生活における奨学金、保険、サークル活動、アルバイト等の生活支援について情報提供や相談に応じます。本学Webの学生生活「奨学金制度について」でも、奨学金についての詳細をご案内しています。

028-670-3641 (直通)

場所:中央研究棟 1階

学費の相談がしたい

会計課

学費についての相談などお気軽にお問い合わせください。

028-670-3604 (直通)

場所:管理棟 1階

教員と話がしたい

オフィスアワー

教員が研究室に在室し、様々な相談を優先的に受けられます。内容にかかわらず親交を深める良い時間になると思います。Webのオフィスアワー時間割表で相談したい先生の曜日と時間を確認してください。

場所:中央研究棟(2F~4F)研究室等

在学証明書・卒業証明書が欲しい

教務課

教務課では学生生活における授業、試験、実習など履修全般について情報提供や相談に応じます。

028-670-3642 (直通)

場所:中央研究棟 1階

就職について相談したい

キャリア・就職支援課

教職員が一体となって、学生の就職を全面的にバックアップしています。1年生から「就職ガイダンス」を皮切りに「マナー講座」など、教育者として、また社会人として欠かすことができない、効果的なプログラムを提供しています。

028-670-3645 (直通)

場所:中央研究棟 1階

病気やケガに対する応急処置
体調不良や健康に不安がある

保健室

心身の健康に関する情報提供など、各相談担当者や専門機関を紹介する等のサポートをしています。

028-612-2322 (直通)

場所:中央研究棟 1階

後援会事務局からのお知らせ

本学では、大学で学びたいという強い意志があるにもかかわらず、経済的な理由で学業継続が困難な学生をサポートするため、様々な奨学金制度を扱っています。ここに記載されていない奨学金もありますので、奨学金が必要となった場合はお気軽に学生課までお問い合わせください。

Check! 春の希望者説明会 令和7年4月9日(水)・10日(木)・11日(金)
12:10~13:00 保護者参加可

日程等詳細は学内掲示板や学内情報サービス(TECMIN)で案内しています。
申請資格等の詳細は、QRコードのHP等から確認してください。

Check! 令和7年4月から多子世帯の授業料・入学金等無償化の所得制限がなくなります
※多子世帯:扶養される子どもが3人以上いる世帯

Check! 給付奨学金に
申請しないと
対象になりません!!

- ◆ 開始時期/令和7年度~(入学生・在学生)
※令和6年度以前から在学している方も対象となります。
- ◆ 支援対象/子ども3人以上の世帯
- ◆ 減額支援/本学は授業料60万・入学金25万
(短大2年制の場合60万円×2年+25万円が減額支援)
※現金支給ではなく、各学校の授業料等が減額されます。
- ◆ 申込手続/令和7年度入学後各学校で
- ◆ 所得制限/なし
- ◆ 学業要件/学修意欲があれば採用
- ◆ 要件を満たした大学・短大・高専・専門学校が対象

文部科学省
「高等教育の修学支援新制度」
令和7年度からの多子世帯の
学生等に対する大学等の
授業料・入学金の無償化等について

《日本学生支援機構奨学金》

①給付・授業料減免新制度

※住民税非課税世帯とそれに準ずる世帯・多子世帯が対象
新給付制度紹介HP 進学資金シミュレーター



②貸与奨学金制度

※無利子の第1種と有利子の第2種があり卒業後には返還が必要
貸与奨学金紹介HP 貸与・返還シミュレーション



学生課には、日本学生支援機構奨学金以外にも市町村や保育士等修学支援等の奨学金案内が届いています。奨学金が必要となった場合は、お気軽に学生課までお問い合わせください。

奨学金に関するお問い合わせ先
学生課
TEL 028-670-3641 gakusei@sakushin-u.ac.jp

INFORMATION

令和6年度学位記授与式のご案内

2025年3月16日(日)

午前10時(受付:午前9時~)



編集・発行 作新学院大学女子短期大学部
後援会報事務局(総務課内)
〒321-3295 栃木県宇都宮市竹下町908
TEL 028-667-7111 FAX 028-667-7110



作大・作短
後援会公式HP



作新学院大学
女子短期大学部
HP



作大・作短
公式Twitter

Sakushin Gakuin
University
Women's College

SAKU

Sakushin Gakuin University Women's College Supporters' Association Newsletter
Vol. 27
2025

あなたの未来が咲くマガジン

作新学院大学女子短期大学部後援会報



学生のみなさんが人として成長し、目標に向かって力強く歩んでいける「応援団」でありたい。



作新学院大学女子短期大学部 学長

渡邊 弘



作新学院大学女子短期大学部後援会 会長

水沼 正好

使命感を持って
地域社会の子育て環境を
支え続ける短大

後援会・保護者の皆様には、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃より本学の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠に有難うございます。さて私自身学長として8年目となりますが、一貫して掲げてきたことは「学修者主体の教育」と「地域から信頼される大学・短大」ということです。学生は第一の広告塔であり、学生が自己の将来の目標を達成していくために入学から卒業までをしっかりと教職員が支援し、この短大に入学してよかったと感じてもらえることが何より重要です。当然のためには、私たち教職員は質の高い教育を提供し、学びの環境を整備していかなければなりません。本短大は、今年で58年目となる伝統ある幼児教育科1学科の保育者養成機関であり、これまで県内外に多くの卒業生を保育者として輩出しています。現在、地域貢献活動としては、子育て支援「わいわいひろば」があり、子育て家庭の地域参加と交流の機会を提供しつつ、「わいわいひろば」の参加をとおして、学生一人一人の成長(保育者としての気づきや自学自習の促進、ボランティア意識の醸成など)を支援する仕組みが出来上がっています。さらに、令和5(2023)年度からは、新たに図書館との連携企画「キッズスペース」の開設も実施し、「わいわいひろば」の開催日に図書館のキッズスペースを開放して、図書館が所蔵する多様な絵本に地域の子育て家庭が触れる機会を創出すると共に、学生が手遊びと絵本の読み聞かせを实践する場ともなっています。また、学生の主体的な学びを支援する取り組みとして、『大学コンソーシアムとちぎ』(栃木県内の高等教育機関のネットワーク組織)が主催する「学生&企業研究発表会」に学生が参加する機会をつくり、支援しています。今年度は「ミライチャレンジプロジェクト事業」(主催:栃木県及び公益財団法人とちぎ未来づくり財団)にも有志学生6名が『作新短大・子育て支援隊』として県政課題部門に応募し、社会人や大学生を含む11団体と競い、認定4団体の一つに選ばれました。現在、少子化が進む中、短大それ自体が大きな岐路に立たされているといわなければなりません。多様性が求められている今日、学生確保として男女共学化やリカレント・リスクリング教育などの社会人の学び直しの場の提供なども、今後積極的に推進していきたいと考えております。どのような時代であれ、本学は教育環境を充実させ、一人一人の学生に対するきめ細かな教育支援を行うと共に、今後は多様性を認め合える社会の発展に積極的に参加して行くことを考えつつ、保育者養成校としての社会に対する責任をしっかりと果たして行きたいと考えておりますので、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

本学の皆さん、そして
次代を担う子供たちの
教育環境の整備を支援

日頃より後援会活動にご理解とご協力を頂いている会員の皆様、熱心に学生たちを指導して下さっている教職員の皆様に、この場を借りて感謝申し上げます。私が後援会長を仰せつかってから後、コロナ禍や国際紛争、地震や気象災害など暗いニュースが目立っていたように思います。一方で昨年には新札も発行されるなど、新しい時代を象徴する顔に徐々に代わりつつあるとも感じています。私自身は現在、農業の後継者育成に係わる仕事に就いておりますが、今後は令和の時代を担っていく若い人材を様々な分野で確保・育成していくことがますます重要になると考えています。人間とは、人と人との間柄です。2年間の短大生活は、世に生い立つための基礎を築くところであり、一生つきあえる仲間をたくさん作っていける大変重要な場でもあります。本校学生の皆さん、さらにその次の代を担う子供たちの教育に貢献していくことができるよう、学内外の環境を整えていくことが後援会すなわち「後方から援助」することであり、とても大切なことと考えさせられています。そしてその役割を、実務を担当する現場の教職員の方々と共に協力して行っていくことが大変重要であるとも考えています。今後とも後援会の活動にご理解を頂き、共に必要な支援を行っていただけるよう、引き続きご協力を頂きますようお願い申し上げます。

作新学院大学女子短期大学部幼児教育科長 坪井 真



保育者をめざす学生一人ひとりの
多様なニーズに応じた教育活動を。

後援会の皆様におかれましては、本学の教育と学生の諸活動をご支援くださり、誠にありがとうございます。2023年4月、これからの保育・幼児教育と関連する「こども基本法」が施行されました。この法律は、子どもの受動的権利(生きる権利・育つ権利・守られる権利)とともに子どもの意見表明権(能動的権利)を重視しており、保育・幼児教育の現場では、保育者の皆さんが乳幼児期の子どもの主体性を尊重する実践に取り組んでいます。本学の教育理念、すなわち「自学・自習」「自主・自律」も学生一人ひとりの主体性を尊重した考え方が基盤にあります。一方、近年は学生のニーズが多様化しており、一人ひとりの主体性を尊重しつつ、学生の立場にたって支援する取り組みが重要になっています。そこで本学は、今年度より教育体制の改善を図り、保育者をめざす学生一人ひとりの多様なニーズに応じた教育活動を推進しております。具体的には、多様性・公正性・包括性に基づく教育体制の改善(制度の見直し、教員の意識改革)を基本理念に位置づけ、①多様性(ダイバーシティ):学生一人ひとりの違いを尊重する教育実践、②公正性(エクイティ):学生一人ひとりのニーズに合った学習環境の整備、③包括性(インクルージョン):学生一人ひとりの多様性を教員が認め、全ての学生が社会に貢献する人材として成長できるように支援する取り組みを進めています。今後後援会の皆様の変わらぬご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

教員紹介



准教授 設楽 紗英子

後列	准教授 藤村 透子	准教授 長澤 順	教授 久野 高志	准教授 宍戸 良子	講師 横井 夏子	講師 森嶋 佳織	准教授 山本 詩織	准教授 井上 修	准教授 矢野 善教
前列	常務理事 渡瀬 政道	教授 花田 千絵	教授 西田 直樹	学長 / 教授 渡邊 弘	科長 / 教授 坪井 真	法人事務局長 古内 伸一	事務局長 中山 忠男		

本学の専門職養成教育とリベラルアーツについて

リベラルアーツは、専門的な教育とは異なり、哲学、文学、歴史、数学、自然科学など、様々な分野を幅広く学ぶことを目的としています。この中で、幅広い教養を身に付けるためには、各分野の専門家の講義を受けることが重要です。これにより、大学を卒業するのにふさわしい広い教養を得ることができます。リベラルアーツは、幅広い知識を学ぶだけでなく、自分で学び続ける姿勢を育てることも大切です。これにより、一生を通じて学び続け、知識を深める基盤を作ることができます。また、リベラルアーツの学習をとおして、学生の皆さんが修得する能力は多岐にわたります。(表1)

- ① 各分野の知識を関連づけながら、物事の全体像を把握する能力
- ② 批判的思考力(物事を客観的に把握・分析・評価する能力)
- ③ 論理的思考力(課題・論点に対する根拠を明確化し、筋道を立てて考える能力)
- ④ コミュニケーション力(相互の情報・感情などを伝えあい、共有する能力)
- ⑤ 創造力(新たな考えや物を創りだす能力。複雑な問題を解決する能力)

表1 リベラルアーツの学習をとおして修得する主なスキルや能力

このようなリベラルアーツの特徴は、本学の教育目的やディプロマ・ポリシーにも含まれています。(表2・3)

1. 保育者としてふさわしい資質を備え、常に時代の要請に自ら進んで対応できる能力を養う。
2. 保育者に必要な保育の理論や実践的な技能を、自ら進んで学び高めようとする態度を養う。
3. 保育者としてふさわしい豊かな個性や協調性を持ち、学問的な裏付けを持った実践を行うことができる能力を養う。

表2 本学の教育目的が示す項目

【知識・理解】

諸領域(人と自然・人と社会・人と文化・言語・情報・キャリア形成)の学問分野における基礎的知識を持っている。

【技能】

情報や知識を複眼的、論理的に分析し、自分の意見を口頭や文章で的確に表現できるコミュニケーション・スキルを身につけている。

【態度・志向性】

- ①「自学・自習」「自主・自律」を実践できる。
- ②他者と協調・協働して行動できる。また、目標の実現のためにリーダーシップを発揮できる。

【統合的な学習経験と創造的思考力】

理論(日々の学び)と実践(各種実習)を往還する省察と改善の態度を身に付けている。

表3 リベラルアーツの特徴と関連する本学のディプロマ・ポリシー

したがって、本学の専門職養成教育は、幅広い教養を修得することだけでなく、上述したリベラルアーツの特徴を含んでいます。そこで本学は、教育目的とディプロマ・ポリシーを基盤にしつつ、リベラルアーツの特徴を生かした専門職養成教育を展開していきます。(表4)

1. 保育者としての専門知識を深める

- 保育・幼児教育の専門分野について、深く掘り下げて学ぶ。
(例:「遊びのプログラム」を学ぶ際、幅広い分野の知識・スキルと関連していることを理解する)
- 専門知識を基盤に位置づけながら、他分野の知識を関連づけることで幅広い教養を修得する。
(例:「絵本の読み聞かせ」を学ぶ際、その絵本にかかわる多種多様な分野の事柄を調べ、知識として修得する)

2. 専門外の知識を取り入れ、保育・幼児教育の学びや実践に活用する。

- 保育・幼児教育以外の分野に関する知識を取り入れ、新たな発想やアイデアを創り出す。
(例:自然観察や食育の取り組みにおいて、関連する分野の専門知識や実践例を取り入れ、従来の保育・幼児教育実践と異なる側面からプログラムを検討・立案する)

3. 保育者に必要な教養を身につける

- 子どもの育ち・学びの保障や保護者の子育てを支援するために必要な幅広い教養を修得し、物事を多角的に捉える力や洞察力の向上を図る。
(例:事例検討などで保育者が子どもの生活環境や保護者の社会的役割、家族が暮らす地域社会の状況など多角的な側面から保育・幼児教育の実践を捉え直し、専門職として子どもや保護者の理解を深め、洞察力を向上させる)

表4 リベラルアーツの特徴を生かした本学の専門職養成教育—学びのポイント—

学友会会長紹介

- 学友会活動を通して
- 自分だけで抱えるのではなく
- 周りに頼ることを学びました



学友会会長 幼児教育科 2年 松山 美来さん

Question.1 学友会会長になられたきっかけは何でしたか？

様々な理由があるのですが、いちばん大きなきっかけは先輩=近づき難い存在であるというイメージを払拭したいと思ったということです。先輩方は1年間作短で経験を積まれてきて、作短生活を楽しみながら課題や実習をこなしているため、キラキラしており遠い存在でした。そういったこともあり、月1回行われる学友会会議が少し物々しい雰囲気であると感じていました。会議では学友会会長が司会を務めるので、学友会会議を1年生と2年生の間に壁を感じにくい、一体感のあるような会議にしたいと思ったのが、会長に立候補した理由の一つです。

Question.2 学友会はどのような組織ですか？

作短生全員が所属している自治組織です。学友会のメンバー全員がイベントごとの実行委員会に所属し、イベントの運営を行います。月1回の学友会会議や、年に2回学友会総会があります。他にも七夕祭り、ハロウィンパーティー、作新祭、スポーツ大会、クリスマス会、2年生を送る会、グリーン活動など様々な楽しいイベントがあります。

Question.3 やりがいを感じた時は、どんな時でしたか？

今年度の学友会役員8名で、昨年1月に2年生を送る会の企画、運営を行いました。8人で何度も話し合いを重ね、時間を見つけて準備を進めました。慣れないことばかりで思うように準備が進まなかったり、意見が対立したりすることもありましたが、何とか本番を迎え、結果は大成功!大きなトラブルもなく、2年生を送る会を無事に終えることが出来ました。先生方から「初めてやったのにこれはすごい。本当にお疲れ様。」と言っていたことができ、その時に頑張ってきたことでやってよかったなと思い、やりがいを感じました。

Question.4 人との関わりが多い中でどのようにして人間関係を構築しましたか？

まずは感謝を伝えることだと思います。例えば、スポーツ大会実行委員さんがクラスを引っ張ってくれたおかげでスポーツ大会で入賞できた時、実行委員さんに感謝を伝えると同時に世間話を交えたり、褒めたりすることで、仲が深まりました。意識してやっていたことでは無いのですが自分の行動を振り返るとそういう行動をしていたかも知れません。しかし自分自身知らない人に話しかけることをよく躊躇してしまうので、「次見掛けたら話しかけよう」と心の中で決めておくなど、日々工夫しています。

Question.5 勉強や学生会、アルバイトの両立はどのようにしていましたか？両立のコツなど教えてください!!

一番大切なのは、簡単な課題をすぐに終わらせることです。2年間という短い期間で様々なことを学ぶため、色々な課題が出ます。その中でも授業後の休み時間や授業が早く終わった時の数十分を使えばできてしまう課題を溜め込まないことを意識して課題をこなしていました。それに加えて、土日はゆっくり休めるよう、通学中のバスや電車の中ではスマホで出来る課題に取り組みました。そうすることによって文字数の多いレポートや、課題研究などのボリュームのある課題に費やせる時間が増え、時間を掛けて良いものが提出できるため、成績はとも良かったと思います。課題や実習で時間が余らない時にはバイトの中でも単発バイトを選んでいました。私は児童文化部の部長も務めているのですが、児童文化部の活動が活発な時には放課後の時間を使って大きな課題を終わらせるなどしていました。

Question.6 学友会で活動したことは今後どのように活かせると思いますか？

社会に出て、人と協力して活動する際に活かせると思います。私は今まで生徒会活動を中学、高校とやってきてはいましたが、会長という立場に立ったことはありませんでした。いざ会長になってみると「自分がやらなくては」という気持ちに駆られ、なかなか学友会役員8人で学友会を引っ張るというイメージで動くことが出来ませんでした。しかし、先生から「人を頼るのも勉強だね」と言われ、そこで私ははっとさせられました。その言葉を聞いてから、学友会の役員である私以外の7人に頼ったり、相談したりすることが多くなり、「自分がやらなくては」と思い辛くなることなくイベントの運営や学友会活動が出来ました。私たちが就くであろう保育職では、職員同士の協力が欠かせません。自分が頑張るだけではなく「人を頼る」ということを意識し、皆で協力して一つのことを成し遂げられるよう頑張ります。

社会人入学者の紹介

Question.1 なぜ社会人入学を希望しましたか？

新しく療育の世界に飛び込んだことが短大で学ぼうと思ったきっかけです。ひとり親家庭で、重い自閉症児の年子の兄弟を育てている利用者様との出会いもあり、福祉を必要とする人に必要な支援を届けられるような社会づくりに貢献したいと考えようになりました。保育の専門家としての知識や技術を習得し、課題を抱える子どもやその家族のサポートができるようになっていきたいです。

Question.2 作短を選択した理由は？

高校生の娘がいることから家庭との両立を第一に考え、自宅から一番近い距離にある作新学院大学女子短期大学部への入学を選択しました。

Question.4 キャンパスライフはいかがですか？

娘と変わらない年齢の子達との会話は、娘の理解にも繋がっており、自身の子育てにも大変役に立っています。また、短大ではグループワーク活動も多いのですが、親ぐらいの年齢の私にいつも声を掛けてくれ、他の友達と変わらず接してくれるクラスメイトには、大変感謝しております。

Question.6 メッセージをお願いします

年齢を重ねたからこそ得られた経験や知識は、新しい学びに深みを与えてくれます。新しい一歩を踏み出すことが成長に繋がると考え、失敗を恐れずにチャレンジしてみてください!

Question.3 特に興味を持った科目は何ですか？また、実際に学んでみた感想は？

子ども家庭支援論、特別支援教育です。子ども家庭支援論では、事例を通して演習に取り組むことで実践力を身につけることができています。また、特別支援教育では、療育の現場で見てきた実際の姿と理論が合致し、障害への理解を深めることができています。

Question.5 今後のビジョンを教えてください

卒業後は保育士資格を活かし実務経験を積みながら、社会福祉士の資格取得を目指して行きたいと考えています。幼児教育で得た子どもの発達や心理に関する知識は、援助に必要な子どもの理解や、援助の方法を考える上での手掛かりにしていきたいと考えています。

- 福祉を必要とする人に
- 必要な支援を届けられるような
- 社会づくりに貢献したい

幼稚園実習記録



学校法人北城学園
平出幼稚園で
実習させていただきました

幼児教育科 1年
長嶋 麗杏さん

私は今回「平出幼稚園」で13日間の実習をさせていただきました。初めての实習で不安もありましたが、元気な子どもたちや温かいご指導をくださる先生方の支えもあり、最後まで笑顔で積極的に実習に取り組めました。

今回の実習では3歳～5歳児クラスに1週間ずつ入り、様々な活動を通して子どもたちと関わる事ができました。名前を呼んで沢山話しかけてくれる子ども、少し遠くから小さく手を振ってくれる子ども、一生懸命特技を見せてくれる子どもなど、私との関わり方も子どもたちそれぞれで、個性豊かな子どもたちと過ごすことが楽しくて、毎日があっという間でした。また私は子どもたちに楽しんでもらうため手遊びやスケッチブックシアター、絵本、紙芝居など試行錯誤しながら実践しました。個性豊かな子どもたちは感性も皆それぞれであり、笑って楽しんでくれる子どもやお友だちと話し始めてしまう子どももいました。実習を通して子どもたち全員の興味を引くことの難しさを痛感しました。先生方に助けていただく場面が多くあり、改めて学ぶことの多さも感じました。

今後はこの実習で発見できた自分自身の課題の解決に励み、次回の実習では今よりも成長した姿で臨めるように、短大生活を送りたいと思います。



学校法人北城学園 平出幼稚園



当園は、宇都宮市平出町にある私学助成の幼稚園です。昭和45年に設立し、創立50周年を迎えました。幼児教育の5領域「健康・人間関係・環境・言葉・表現」を総合的に指導しております。

- 【4つの目標】
1. 体力づくりで元気な子ども
 2. 明るい心のびのびとした子ども
 3. 人に迷惑をかけない子ども
 4. 創造性豊かな子ども



社会福祉法人 邦友会
幼保連携型認定こども園
西那須野キッズハウスで
実習させていただきました

幼児教育科 1年
長谷部 志音さん

私は今回、「国際医療福祉大学西那須野キッズハウス」で13日間実習させていただきました。入学後初めての实習で、実習が始まる前は不安も多くありました。しかし、実習初日から子ども達が沢山話しかけてくれた事や、保育者からの親切なご指導、優しく温かい言葉のおかげで不安もなくなり、元気に子ども達と積極的に関わり、笑顔で実習に取り組むことが出来ました。

今回の実習では、3歳・4歳・5歳と3クラスに入らせて頂き、それぞれの年齢に合わせた保育者の援助・環境構成を観察し、各クラス2日目からは部分実習で絵本の読み聞かせ、5歳児クラスでは帰りの会でのピアノ伴奏を行う時間を頂きました。導入が上手いかなかった事や、ピアノで弾き間違えをしてしまい、悩んでしまったこともありました。しかし、子ども達の楽しそうに歌っている姿や、読み聞かせて沢山反応してくれる姿を見て、やって良かったと達成感と充実感を感じました。そして、保育者と子どものやりとりを観察する中で、場面に応じた関わり方、子どもたちの興味の引き立て方を遊び、生活の中で学ぶ事が出来ました。

初めて子どもの前で絵本の読み聞かせ、ピアノ伴奏を実践して学んだ事や、保育者から学んだ事を活かし、今後の学業に取り組んで行きたいと思います。



社会福祉法人 邦友会 幼保連携型認定こども園 西那須野キッズハウス



一人ひとりの発達や特性に配慮しながら様々な遊びや教育を通して、お客様の健康と感性を養い、集中力や表現力を高めることを目指しています。また1歳児から小学6年生までのお子様を対象とした「病児、病後児保育」を開設しています。那須塩原市では数少ない「休日保育」を実施、隣接する高齢者施設との交流等、多様化する保育ニーズに応えられる総合的な教育・保育施設として、地域の皆様に親しまれる施設になるよう努めています。

教育

2024年度(2023年度決定) ベストティーチャー賞

ベストティーチャー賞は、学生による授業評価アンケート結果に基づき、毎年度教員1名が選出される制度です。



幼児教育科
准教授 長澤 順

Profile

東京学芸大学教育学部芸術課程音楽専攻ピアノ専修卒業、同大学院修士課程修了。修士(教育学)。その後、イタリアの複数の音楽院においてピアノ演奏の研鑽を積む。イタリア国立ヴェルディ音楽院卒業(ディプロマ)。帰国後、茨城キリスト教大学文学部児童教育学科講師を経て、2013年4月より、作新学院大学女子短期大学部に勤務。

私の専門は、ピアノ演奏と音楽教育です。特に、幼児を対象とした音楽教育や、ピアノ初心者用の教材などを研究しています。

〈担当授業の概要〉

ピアノ弾き歌い技能を習得するための「音楽表現実践演習」、子どもと音楽の関わりを学ぶ「幼児と音楽表現」のほか、「保育実習指導Ⅱ」や「保育実習」など、実習に係る科目も担当しています。

〈授業への取り組み〉

授業の形態に関わらず、音楽をコミュニケーションの手段としても活用し、学生一人ひとりと関わるよう心がけています。また、保育者を目指す学生の将来を見据え、実用性を重視しています。

(1)知る・覚える・やってみる

技能や知識をインプットする時間の後に、必ずそれらを実践するアウトプットの時間を設けています。学生が「保育者としての自分」をイメージすることができるよう、実技・講義・演習のバランスを工夫しています。

(2)抵抗感を取り払う

音楽に苦手意識を持つ学生も少なくないため、まずは楽器や歌に親しむことを優先し、経験や得手不得手に関係なく実践できる音楽活動があることや、様々な楽しみ方があることを伝えています。

(3)トレンドを逃さない

子どもが好むコンテンツは目まぐるしく移り変わるため、リサーチが欠かせません。流行りの手遊びや新しい楽曲は積極的に授業に取り入れ、学生の「引き出し」がひとつでも増えるよう努めています。

研究

研究者紹介



幼児教育科
講師 森嶋 佳織

Profile

東京農工大学大学院連合農学研究科博士課程修了。博士(農学)。栃木県立博物館の学芸企画推進員、国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所の特別研究員を経て、2023年4月より作新学院大学女子短期大学部専任講師として勤務。



私は、森林生態学を専門とし、ヤマビルやマダニといった吸血動物の生態に関する研究や幼児期における子どもの自然体験の重要性やその支援について研究しています。吸血動物がどんな生活をしているのか理解することで、被害に遭わないための対策方法を提示することが可能となります。研究を通して生き物を理解し、人が自然と上手に関わっていく方法を模索しています。「生態学が幼児教育にどのように繋がるのか?」、疑問に思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、身近な環境を通して行う保育を学ぶためには、生態学者ならではの視点が重要だと考えています。授業では、学生が自身の体験を通して自然体験の楽しさや意義を学べるよう工夫しています。例えば、生き物を探す自然体験や植物を使った自然遊びを構内で実践しています。また、自然の中で遊ぶためにはハチやヘビ等の危険な生き物に対する知識を含め、子どもの安全管理が大切です。こういった安全管理についても触れ、自然体験に対する学生の実践力を伸ばしていけるような授業を心がけています。今後も、学生に自然遊びの楽しさや意義を伝え、学生の豊かな自然観の育成や学びを支援していきたいと思っています。

日本生態学会の論文賞を受賞

宇都宮大学の福井み子教授、逢沢峰昭准教授とともに、第71回日本生態学会大会(ESJ71)において、日本生態学会の発行する英文誌Ecological Researchの論文賞を受賞しました。Ecological Research論文賞は、日本生態学会英文誌Ecological Researchの各巻(年6号)に掲載された論文の中から、特に優れた論文5編程度を選考し、それらの著者に贈呈されるものです。

受賞名

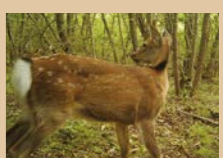
Ecological Research論文賞

受賞論文

遺伝構造解析から明らかになったニホンジカを介したニホンヤマビルの近年の分布拡大範囲: 栃木県における事例
Concordant genetic structures of sika deer and Japanese land leeches suggest that the current range expansion of *Haemadipsa japonica* is dependent on sika deer migration: A case study from Tochigi Prefecture, Japan

著者

Kaori Morishima, Emiko Fukui and Mineaki Aizawa
※この論文は森嶋講師が国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所 野生動物研究領域 特別研究員として在職中に投稿・公表されたものです。



入学から卒業までの紹介

幼児教育科では、保育士資格と幼稚園教諭二種免許が取得できます。1年次の前期は短大での学びに慣れつつ、9月に予定されている「幼稚園実習Ⅰ」に向けた「教育実習指導」があります。また、1年次の後期は2月に予定されている「保育実習Ⅰ（保育所）」に向けた「保育実習指導Ⅰ（保育所）」があります。1年次にこれらの科目に合格した場合、幼稚園と保育所に実習に行くことができます。さらに、2年次には幼稚園実習、施設実習、保育所実習または施設実習に行くことになります。実習は保育士資格と幼稚園教諭二種免許を取得する場合、1年次に2回、2年次に3回、計5回あります。実習は「百聞は一見に如かず」ということもあり、学生は現場での実践を積み重ねることにより、一回りも二回りも成長して短大に戻ってきます。授業はグループワーク・課外活動などのアクティブラーニングや地域の子どもや保護者向けの子育て支援「わいわいひろば」での実践的な学び、障害者支援施設等への施設見学など、多彩なプログラムを用意しています。講義系の科目においても実務経験のある教員や外部講師による現場実践に即した話題提供、映像資料を用いて理解を深める取り組みを行っています。卒業後に保育者を目指す方のみでなく、対人援助職に就きたい方や一般就職する方も自身のスキル向上に役立つカリキュラムを揃えています。

入学から卒業までには、所定の授業科目について62単位以上の修得が必要です。「卒業要件」を11単位以上、「専門科目(必修)」を23単位以上、「専門科目(選択必修)」を28単位以上、修得しなければなりません。保育士資格や幼稚園教諭二種免許を取得する場合は履修単位数が増加します。履修登録は、学生本人が行いますが、教務を担当する教員や担任教員が個別に対応しています。このように、学生たちが自らのキャリアの決定に向けて2年間という学びを充実してもらえるようにサポートしていきます。

本学のキャリア支援について

幼児教育科 キャリア・就職委員 准教授 設楽 紗英子



本学では、例年、在学生のおおよそ9割以上が保育職に就きます。全国の保育者養成校の中でも、高い割合で保育・幼児教育の現場に人材を輩出できているのではないかと思います。学生たちの就職活動は、キャリア・就職支援課の職員、就職委員、担任、授業で、多角的に支援しています。キャリア・就職支援課の職員は定期的に全ての学生たちと面談を行い、学生たちの進路希望や就職活動の動向を把握しつつ、栃木県内の園とも情報交換に努め、就職支援にフィードバックしています。就職活動のシーズンには、教員の方でも個々の学生の活動状況に目を配り、就職活動がスムーズに進むようコミュニケーションを取っています。授業では、講義だけでなく実践的に学ぶことも力を入れています。製作や表現技術のレパトリーをストックする、授業をわいわいひろばと連動させて展開するなどです。学生にとっては課題や準備に時間を取られ大変なことも多いかもしれませんが、ただ、授業の成果を積極的に実習で試し、成長していく学生が多いことも事実です。これからも、学生たちの意欲に応え、現場で作短出身の保育者が求められるよう取り組んでいきたいと思ひます。

就職活動体験記

Q 就職活動は、いつから始めましたか？

6月30日に行われた栃木県合同就職説明会へ行き、就職したいと思える幼稚園を見つけたため、7月1日から就職活動を始めました。

Q どのように幼稚園（内定先）を選定しましたか？

幼稚園実習を通して、自分がやりたい保育の方向性が絞られたため、栃木県合同就職説明会で私の希望に近い幼稚園を探していました。先生方の雰囲気や幼稚園の条件が良いことや、その幼稚園は、妹が通園していた幼稚園でもあり、当時の妹目線て話を聞いても、印象が良かったため、選定しました。

Q 重視した部分は何ですか？

重視した部分は2つあります。1つ目は、子ども主体で保育を行っていることです。2つ目は、園の雰囲気が良い環境の中で保育者自身も楽しみながら保育を行っていることです。

Q 学生時代に取り組んでいたこと、力を入れていたこと(ガクチカ)は？

私は学友会の書記を担当し、1年生の時、学友会の代表者で2年生を送る会を企画しました。学友会の仲間たちと話し合い、進行の内容をまとめ準備をしたりスムーズに司会進行を行えるサポートをしたり、意見を出し合い、まとめる力や人前で発表する力を身に付けました。

Q キャリア・就職支援課をどのように利用していましたか？

幼稚園の就職活動は、1次試験で履歴書を送付し、2次試験で面接を行いました。キャリア・就職支援課では、履歴書の書き方や文章の添削、書類の用意を援助してもらったり、面接で気をつけておくべきことを教えて頂きました。職員の方々はとても優しく、事前連絡をせずに訪問しても、親切に接してくださいました。就職の面接練習で緊張していた際、励ましの言葉を頂きとても嬉しく感じました。自信を持って面接に臨むことができました。

Q どのような社会人になりたいですか？また、社会人になって取り組みたいことを教えてください。

仕事を楽しくて遂行できる大人になりたいです。また、保育を行う中で、人間関係を良好に構築したいため、様々な経験を積んでいきたいと考えております。

Q 就職活動をする後輩に向けてアドバイスをお願いします。

私は、自分のやりたいことを楽しんでできることが、とても幸せな事だと思います。今が辛くても、結果的に後から自分のためになることがたくさんあるので、人生において無駄なことは1つも無いと思っています。様々なことに挑戦して、自分の1番なりたい姿に近づけるといいですね！



幼児教育科 2年 加藤 愛理さん

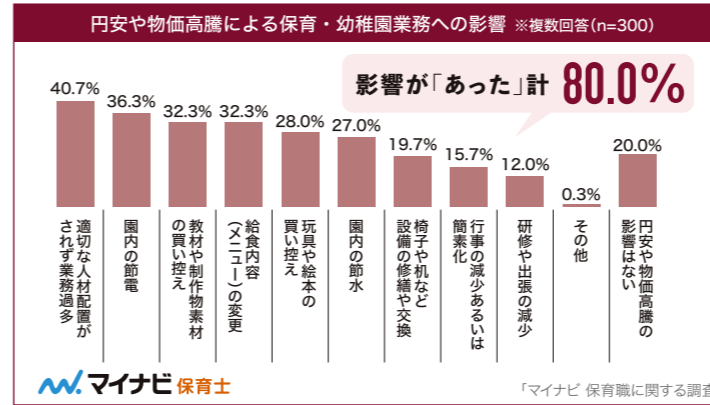
本学の就職支援について

保育職の就活の流れをスケジュール表で解説!!

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
就職活動	← 一般的な保育職の就職活動の流れ →											
	選考対策 ・履歴書・応募書類準備(志望動機・自己PR) ・面接練習・実技対策など											
	公立園 採用選考期間(※自治体により試験時期が異なります)						私立園 採用選考期間					
	内定決定										入職準備研修	
対象 ★1年生 ◆2年生	◆就職活動の進め方		★学生生活と就職活動		◆履歴書志願書の書き方 マナー講座 就職個人面談		★OG講話 ◆合同就職説明会				★個人面談	
	学校行事	1年生	学外オリエンテーション(1泊2日)			前期試験	成績交付	幼稚園実習Ⅰ(13日間)	グループワーク(1泊2日)		後期試験	保育所実習(11日間) 成績交付
	2年生	学外オリエンテーション(1泊2日)	幼稚園実習Ⅱ(10日間)	施設見学(1日間)	施設実習(11日間) 前期試験	施設実習(選択・11日間)	施設実習(選択・11日間)	成績交付 保育所実習(選択・11日間)		後期試験	成績交付	卒業

※2020年からは新型コロナウイルス感染症防止対策のため、学外オリエンテーションは日帰りとなっています。

就職先選びの決め手は「人間関係」と「福利厚生」か。



「保育職に関する調査」を発表 2024.10.11マイナビニーズ調査より

8割の保育職が円安や物価高騰によって業務に影響が「あった」と回答。人件費削減での職員不足、事務用品を自分で用意するなど金銭面の負担も。【調査概要】「マイナビ 保育職に関する調査」 調査期間／2024年8月6日(火)～2024年8月19日(月)

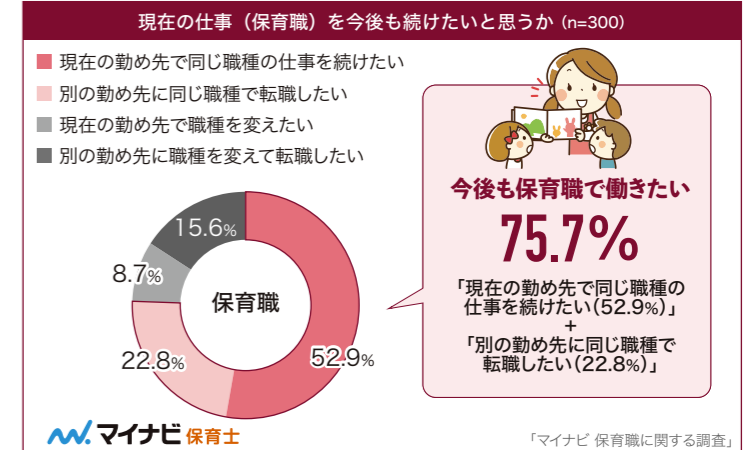
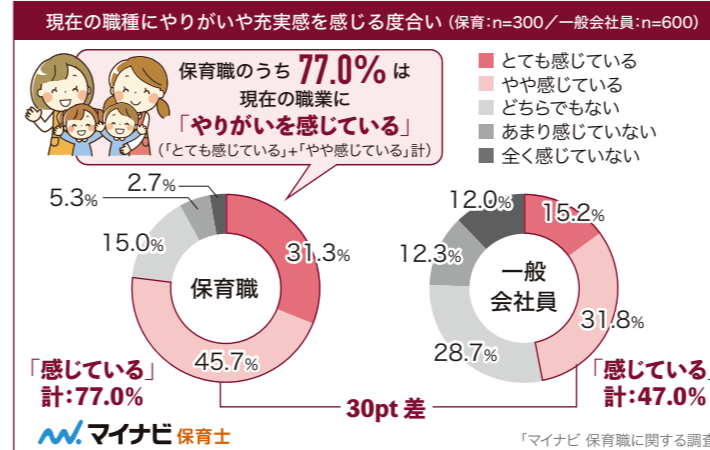
円安や物価高騰による保育・幼稚園業務への影響：具体的なエピソード(自由回答/一部抜粋)

人員配置・業務過多 ・人手不足上に給料は上がり業務が増えた(女性29歳) ・とにかく人件費の削減で、適正な人数の教員が配置されない(男性32歳) ・人が少なく休みにくい(女性35歳)	園内の節電 ・エアコンと電気の管理が厳しくなった(女性35歳) ・エアコンの設定温度が決まっているので、子どもたちが暑がるのでネッククーラーなどを持参してもらっている(女性30歳)
教材・制作物などの買い替え ・新しいおもちゃなどがなかなか買ってもらえないことが多い(女性25歳) ・教材や日用品事務用品の購入は、休みの日に安価な物を探し回らなければならないこともある(女性49歳)	給食内容(メニュー)の変更 ・同じ食材を使ったメニューが増え、豆腐や豆などの主菜が増えた(女性22歳) ・給食で果物、パンがでない(女性46歳) ・急な給食メニューの変更があり、アレルギー対応などに時間がかかる(女性33歳)

マイナビ 保育士 「マイナビ 保育職に関する調査」

保育職の77.0%が現在の仕事に充実感・やりがいを「感じている」と回答。7割以上の保育職が「今後も同じ職種で働きたい」

保育職に、現在の仕事に充実感ややりがいを感じているかをきくと、77.0%が「感じている」と回答した。一般会社員(47.0%)と比べると30pt以上高く、大きく差が出る結果となった。また、保育職に現在の仕事を今後も続けたいかきくと、75.7%が「今後も同じ職種で働きたい」(「現在の勤め先で同じ職種の仕事を続けたい(52.9%)」+「別の勤め先で同じ職種で転職したい(22.8%)」)と回答した。保育職は賃金に対する不満・不安や、肉体的・金銭的な負担を抱える一方で、仕事にやりがいを感じている人が多く、今後も保育職を続けたい意向を示す人が多い結果となった。



卒業生 関戸園香さんにインタビュー!

Interview



認定こども園のふ幼稚園 勤務
関戸 園香さん
2019年度卒業生

Q 現在の勤務先は?特徴を踏まえて教えてください。

天台宗城興寺が母体となり昭和33年に設立された幼稚園です。平成29年4月に、新たに幼保連携型認定こども園のふ幼稚園として開園しました。園舎は田園風景が広がる、自然豊かな場所に建っています。また、隣接する城興寺の境内へ行くと昆虫や四季折々の植物にふれあうことができ子どもたちはのびのびと活動しています。

Q 就職に役立った本学の支援は何でしたか?また、本学の就職支援、学生時代の学びが現在の仕事にどのように繋がっていますか?

就職支援課の先生方には就職先を決める際に、親身になって私の話を聞き的確なアドバイスをくださったりと大変お世話になったことを覚えています。当時の私は、就職先の選択で迷っていましたが、学生の目線に立って一緒に考えてくださったこともあり、今の園に就職したいという決め手にもなりました。また、就職ガイダンスでは実際の現場に立っている卒業生からの生の声を聞くことで、社会人としての心構えなどを学びきっかけにもなりました。

Q 学生時代にどのようなことを培い、社会人になって活かしていますか?

社会人になり、人との関わりが円滑に仕事を進めていく上でとても重要だと感じました。特に、保育者という職業は保護者や保育者同士で子どもに関しての共有を図る上でコミュニケーションはとても重要なツールです。そのため、学生時代のグループで話し合いながら活動する授業や様々な行事、わいわいひろばを通してたくさんの友達や地域の人と関わった経験が今の私のコミュニケーション能力の向上に繋がりました。

Q 在学中にも保育園実習として取材させていただきました。当時を振り返り、過去と現在、理想と現実、学生から保育者になった立場でどのように感じますか?理想と現実で乖離している事などありますか?

当時と現在では、保育者という職業の捉え方が大きく変わりました。実際に保育者になってみると、学生時代には見えなかった壁にぶつかったり、当時とは違った内容で自分の保育を見つめ直す日々です。十人十色の子どもたちに物事を伝えるという事は、正直5年経った今でもとても難しいことだと思います。失敗・反省・反省を活かして挑戦しての繰り返しを今も続けています。そのため、保育者となった今も学びが大切だと感じます。

Q 理想と異なる、乖離していると感じたことは、どのように対処していますか?

誰かに相談をすることで、物事の捉え方や悩みを解消するきっかけになるため、学生時代の友達と保育に関する出来事を伝え合っています。また、職場の同僚に相談して自分が思っている疑問や悩みを聞いてもらっています。

Q 学生時代の自身に向かって何かメッセージやアドバイスはありますか?

学生の頃、友達と帰る間際、当たり前のように言っていた「また明日ね」という言葉。思えば、社会人になって使っていないな...学生時代だからこそ味わえる友達との楽しい日々を大切にしてくださいね!そして、授業や実習に正直大変だと思ってもあるけれど、保育者になった時に短大で学んだ事が活かされる時があるから頑張ってね!

Q これから保育者を目指す作短の後輩たちへ、現代社会に則し、どのようなことを勉強し、保育者になって欲しいか、メッセージやアドバイスをお願いします!!

皆さんが今目指している保育者という職業はとてもやりがいのある職業です!私自身、保育者になってみて日々新しい発見や感動、驚きがあり毎日が新鮮であつという間に過ぎていく楽しい職業だなと感じます。様々な授業や実習を通して、自分が子どもだったらこんな先生がいいなという事を考え自分の中での保育者の理想像を持ってみてください。その目標が、軸となり頑張れる糧になると思います!そして授業で、たくさんの学びを吸収し実習で実践してみてください。何事も挑戦することが自信に繋がると思います!皆さんのご活躍を楽しみにしています。

関戸先輩、ありがとうございました。

関戸先輩たちの講話を聴きました!

7月9日(火)幼児教育科の1年生を対象に「就職ガイダンス(OG講話)」を実施しました。保育の現場で活躍されている関戸さんをはじめ卒業生をお招きし、それぞれの勤務先での仕事内容や体験談、子どもたちとの関わり方や作短での学びなど、保育者ならではの貴重なお話を聴かせていただきました。



作新学院大学女子短期大学部へのご支援について

01 寄付金募集についてのご案内

本学における教育環境の充実とキャンパス施設設備の整備、課外活動、社会貢献活動支援などの学生生活の向上を図るため、個人および法人など幅広く寄付金を募ります。

- 寄付の内容/個人:3千円以上・法人:3万円以上
- 寄付のお申し込み方法/指定の振込用紙に必要事項をご記入の上、金融機関からお振り込みください。

02 学校法人に寄付をした場合の税制優遇について

個人が学校法人に対して寄付をした場合には、所得税の計算において優遇措置が認められており、確定申告を行うことによって、一定額の控除を受けることができます。寄付金控除に係る制度は「所得控除」と「税額控除」の2種類があり、寄付者の所得額や寄付金額によって控除できる金額が異なります。

寄付金控除のイメージ

所得控除

個人の所得税額の計算において、年間の所得金額から寄付金額-2,000円を控除。

各寄付者の所得に応じた税率を寄付金額に乗じて、控除額を決定。

$$\left(\text{所得金額} - \begin{matrix} \text{諸控除} \\ \text{寄付金} - \\ \text{2,000円} \end{matrix} \right) \times \begin{matrix} \text{税率} \\ 20\% \end{matrix} = \begin{matrix} \text{所得税額} \\ \text{寄付金} \\ \text{控除} \end{matrix}$$

(10,000円-2,000円)×20%=1,600円

税額控除

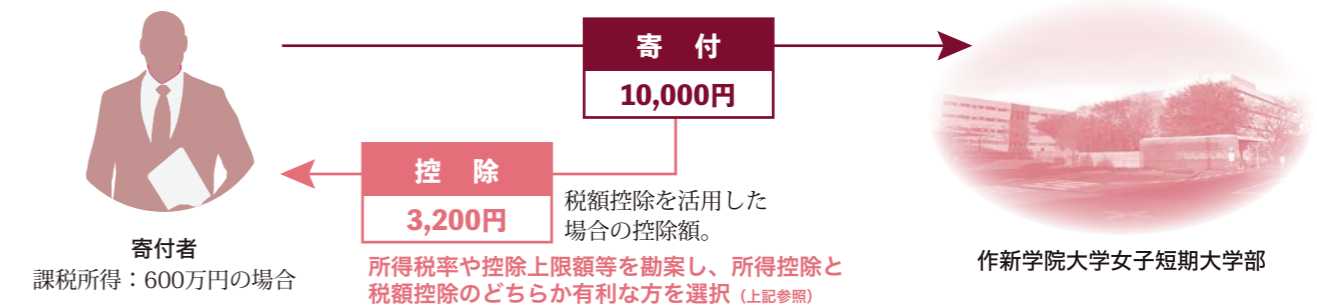
個人の所得税額から(寄付金額-2,000円)×40%を直接控除。

各寄付者の所得税率に関係なく、所得税額から直接寄付金額の約4割を控除。

$$\left(\text{所得金額} - \text{諸控除} \right) \times \text{税率} = \begin{matrix} \text{所得税額} \\ \text{(寄付金-2,000円)} \\ \times 40\% \end{matrix}$$

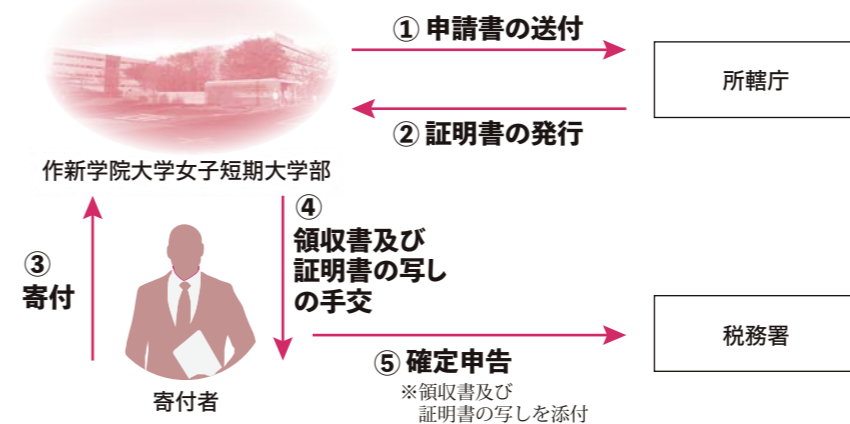
(10,000円-2,000円)×40%=3,200円

※所得税額の計算式(年間の所得金額-各種控除額(寄付金控除含む))×所得税率=所得税額



寄付金控除の流れ(イメージ)

本学に対して寄付をいただいた場合に、寄付金控除を受けるための流れは以下のとおりです。



Information
法人寄付金についてのご相談窓口
法人事務局
028-670-3814

Information
本学では保護者様のお悩み・ご相談事を随時受付しております。
ご相談窓口
028-667-7111
後援会担当まで

ご支援をいただいた皆様へ
本学に対し、皆様よりご寄付を賜り、誠にありがとうございます。皆様の温かいご支援により、学生たちの学びの環境を一層充実させることができていることに、心より感謝申し上げます。皆様からのご寄付は、教育設備の充実や学術研究の推進、さらには学生支援活動の充実に役立てられています。これからも、学生たちが安心して学び、成長できる環境を整えてまいりますので、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。